

学部長あいさつ

「時代認識の重要性」

SGS News Letter 第11号をお届けします。

アツという間に秋学期も残すところ1ヵ月となりました。そろそろ1年生の皆さんには、2年生に進級するにあたり、AEPの授業が終了し、英語または日本語で開講されている専門科目を履修することを念頭に、向こう3年間を考えていただきたい。また、2・3年生の皆さんには「成人」としての意義を、卒業を間近に控えた4年生の皆さんには「社会人」としての意義を考えていただきたい。そこで、冬休みは、今後についてじっくり見つめ直しははいかがでしょうか。

寺島学長は、「2020年の東京五輪には間にあわないが、2027年(予定)にリニア中央新幹線が首都圏と名古屋を40分で結ぶ。その後、東京一大阪間の全線開業は2045年の予定で、最速67分で結ぶと試算されている」。このような状況を学生に伝え、「今後の日本はどう変わるのか、学生ひとり一人が考えて欲しい」と常々言っております。

現在私は品川区に在住し、湘南台まで1時間15分かけて通勤しています。それとは比較対象にはなりません、遠距離である東京-名古屋間が将来40分で結ばれるのであれば、今後通勤・通学圏内という言葉の解釈・意味が変わることはいうまでもありません。従って、現在の人流・物流の範囲とは大きく異なることでしょう。と言うことは、別の視野で物事に取り組む姿勢、知識、柔軟性を必要とする時代が目の前に来ていることを理解しなくてはなりません。振り返ると以前も交通や情報伝達の技術革新によって私たちの生活環境が変化してきましたが、こうした発展は、SGS在生にとって転換期になる可能性が大いにあります。

顧みると、1990年代半ばから末にかけて、私が香港に在住していた頃ですが、それこそ香港人全員がポケベル(以下:ポケベル)を持っているのではと思われるほど、ポケベルが普及していました。しかし、携帯電話の登場で状況が一変しました。携帯電話利用者に対し、特定の曜日・時間帯を設定し、数百円で国際電話がかけられるキャンペーンを展開するなど、低価格競争により、またたく間に携帯電話が普及しました。思えばポケベルで連絡を受け、近場の公衆電話に掛け込む社会から、携帯電話がひとり1台の社会へと変化しました。それに伴いポケベル販売を仕事とした人々は、転職を余儀なくされました。彼らの時代認識が甘かったのかどうか、これは何とも言えません。甘かったのかも知れませんが、また転職した人は、こうした経験のお蔭で今があるとも言えます。このことはそれぞれの考え方によって解釈が違うことでしょう。

しかし、ご父母の皆様や教職員からしてみると、今後の社会や生活環境がどう変化するかを読み切れなかったと思うことでしょう。教育の現場を預かる身としては、そうした「時代認識」についてしっかりと指導する必要があると認識しております。

今後東京オリンピックを開催することにより、グローバルスタディーズ学部の卒業生にとっては、英語を武器に海外進出をしようとする考えから、今まで以上に日本でも貢献できる時代がやって来ることでしょう。オリンピックが開催される2020年に在学生の皆さんはまだ30歳前です。さらにリニア中央新幹線開通予定の2027年でも40歳前で、これからリーダーとして活躍していく時期です。

「時代認識」を理解し、活用するためには今から学習に前向きな姿勢で取り組んでも決して早すぎずということはありません。これは学生ひとり一人の努力が必要ですが、教職員がどう貢献できるのかも我々の課題です。



学部長 安田 震一
(ヤスタ シンイチ)
William Shang
(ウィリアム シヤング)



今後のスケジュール

- 12月24日(火)~1月4日(土)
冬季休業期間
- 1月6日(月)
授業再開
- 1月25日(土)
TOEIC 試験
- 1月27日(月)
秋学期 授業最終日
- 1月28日(火)~2月1日(土)
秋学期 期末試験期間
- 2月3日(月)~3月31日(月)
春季休業期間
- 3月20日(木)
学位授与式・卒業式

発行責任者:
学部長 安田 震一

多摩大学
グローバルスタディーズ学部

〒252-0805
神奈川県藤沢市円行802番地
TEL: 0466-82-4141
<http://www.tama.ac.jp>

平成25年度秋卒業式と秋入学式を挙



平成25年度グローバルスタディーズ学部秋卒業式を9月20日（金）に挙、7名の学生が新たにSGSから巣立ちました。

卒業証書・学位授与を行い安田学部長から一人ずつ証書が渡されました。学生を代表して千島成貴さんが答辞を述べました。千島さんは、成績優秀者並びに課外活動、国際交流活動での特別表彰を受賞しました。また、御影後援会会長より、卒業記念品が代表者の金子将太さんへ手渡されました。最後に式典出席者全員による学園歌斉唱で無事幕を閉じました。

授与終了後は写真撮影や軽食をとりながら教職員と時間の許す限り、歓談の一時を過ごしました。

また、同日秋入学式も挙行され、新入生3名（2名は編入生）、留学生3名（ドイツ1名・シンガポール2名）が参加、多少緊張した面持ちでしたが、自己紹介が終わると安堵の表情になったのが印象的でした。出席した教職員も自己紹介を行い歓迎の意を伝えました。学生達にはコミュニケーション力を発揮し、1日でも早く多くの仲間が増えることを期待します。

学園祭“SGS Festa”を開催

11月2日（土）・3日（日）に学園祭「SGS Festa」を開催、第7回を迎えることができました。過去2年間は、企画内容が不十分であり来客動員数も大幅減となっていました。今年度は、学生会の下部組織として学園祭実行委員会を置き、再出発を図りました。

今年は、テーマを「Take Action! ～元気・地域・心絆～」と早めに掲げ、国際協力・地域協力を意識したプログラム内容としました。体育館ステージで行われたアメリカンスクールと近隣中学校の吹奏楽はその一例と言えます。プロの出演では、湘南台地域として応援の取組をしているアイドルグループ「バクステ外神田一丁目」、アフリカを訪問し、ウガンダの子どもたちとのコラボレーションによる楽曲を披露した「COUSIN」のコンサート、地域の盛り上げにと力を貸していただいた全日本プロレス所属諏訪魔選手の参加など、大盛況でした。また、教室では数多くの講演が行われました。日本人初のメジャーリーガー：村上雅則氏には、活躍された時代と現在のアメリカ国家の時代背景の違いを中心に講話いただき、藤沢市役所の石塚修子氏には、JICAプログラムに参加しウガンダでのボランティア活動経験を語っていただきました。グローバルスタディーズ学部ならではの内容を学生、市民の方々に提供できたと思います。

こうした充実したプログラムを多くの人に伝えたい気持ちが、学生達の広報活動を促しました。授業終了後、近隣のポスティングを毎日のように行い、また湘南台駅ではキャンペーンを展開するなど、その努力は前年比の1.6倍もの来場者数となりました。昨年度の反省から掲げた「テーマに沿った学園祭に徹する」ことができたことも重要な要因です。次年度の実行委員が学園祭の方向性をどう考えるのか期待したいと思います。



第9回 World Cafe

SGSの学生や教職員が学生問題・社会問題について議論を交わす「World Cafe」（学生会主催）が10月17日（木）に行われました。“カフェ”のような寛いだ空間の中で、参加者である学生・教職員がルールに沿って自由に意見交換を行い、互いに理解を深め、創造的なアイデアや知識を生み出して行きました。今回のテーマは、①大学生のマナー・モラルについて（学内全面禁煙に向けて）、②SNS（Twitter等）の利用方法についてです。学内全面禁煙に向けて、SGSでは、再来年の4月より完全禁煙化を行うことが決定していますが、そこへ向けて忌憚のない意見交換ができました。また、SNSについては、その危険性と活用法を再確認しました。互いに尊重し合いながら場の一体感を味わうことができました。



キャリア支援課

本学部4年生(2014年3月卒)の12月1日現在の内定率は約60%です。今年度は企業の採用意欲が高まり求人が豊富ですが、厳選採用の流れは強くなっています。本学部では未内定学生の個別指導を強化し、学生も着実に就職活動を続けていますので、年度末までには、ほとんどの学生が適職を探すことができると思われます。

(主な内定先は別表1参照)

別表1

主な内定先	
製造業	中川装身具工業(株)、三菱自動車工業(株)、SIAC Pte Ltd
情報通信業	(株)ヒューマンクレスト、ネオプロモーション(株)、トランスコスモス(株)、(株)シムテック、(株)アクセスネット
運輸業、郵便業	エリアリンク(株)、丸全昭和運輸(株)、全日本空輸(株)、トレーディア(株)
卸売業、小売業	(株)イッセイミヤケ、青山商事(株)、(株)スタイラ、フルラジャパン(株)、(株)ルネ、(株)鳥忠、(株)梅田モーターズ、横浜日野自動車(株)、(株)ハヤシゴ、プリモ・ジャパン(株)、(株)カフェレオ、(株)グリムス、(株)馬里奈、横浜商工(株)、シュガーレディ(株)、アートインターナショナル(株)、ネットヨタ湘南(株)、(株)シュガーマトリックス、(株)パルス、(株)小泉、神奈川ダイハツ販売(株)、(株)ハナムラオブティクス
不動産業、物品賃貸業	(株)ケインス、住友林業ホームサービス(株)、THR住宅流通グループ(株)、ウスイホーム(株)、(株)ユーミーネット、(株)アールエスエス、ナイスコミュニティー(株)、(株)日本エスコン
学術研究、専門・技術サービス業	(株)翻訳センター
宿泊業、飲食サービス業	(株)四季リゾート、オノゼキトレーディング(株)、日本レストランシステム(株)、(株)エスエルディー、(株)あきんどスシロー、アパホテル(株)、(株)京王プラザホテル、富士屋ホテル、リゾートトラスト(株)、(株)ホットランド、ユナイテッド&コレクティブ(株)、(株)フクシマ商事、東急ステイサービス(株)、(株)クリエイト・レストランツ・ホールディングス
生活関連サービス業、娯楽業	(株)ダイナム、(株)ジンコーポレーション、(株)トリート、(株)ニラク
教育、学習支援業	(株)さなる、(株)秀英予備校、(株)ティルウィンド、ライフツリー(株)、アيدウー(株)、(株)日本ライセンスバンク
医療、福祉	(株)ランドネクス
金融業	富国生命保険(相)
サービス業 (ほか分類されないもの)	(株)アクア・グラツィエ、(株)カトープレジャーグループ、(株)インター・ベル

別表2

インターンシップ先	
1	(特活)藤沢市市民活動推進センター
2	(特活)地球市民AOTかながわ
3	(特活)エイブルアートジャパン
4	(特活)留学協会
5	公益財団法人 日本フィランソロビー
6	公益財団法人 日本ユニセフ協会
7	公益社団法人 藤沢市観光協会
8	一般社団法人 ソーシャルコーディネートかながわ
9	(株)ワイズプラスエネット
10	(株)ナジックアイサポート
11	(株)ジープラスメディア
12	(株)丸山工務所
15	グランドホテル湘南
14	(株)横浜グランドインターコンチネンタルホテル
13	(株)横浜ベイホテル東急
16	ヒルトン東京ベイ
17	(株)ホテル、ニューグランド
18	(株)シーボン
19	オセアニア交流センター(株)
20	江ノ島ボウリングセンター (大安興業(株))
21	湘南技術センター(株)
22	(株)河内屋
23	(株)ライセンスアカデミー 大学新聞社
24	(株)ジュピターテレコム

全学年の保護者を対象とした「保護者向け就職懇談会」を、11月3日(日)に開催いたしました。参加者は保護者45名、学生17名の合計62名でした。プログラムの構成は、(株)ディスコの田中寛司氏より、「就活生を持つ保護者へのアドバイス」をテーマとした講演、卒業生と現4年生のパネルディスカッション、保護者の皆様との懇談会および個別相談をおこないました。参加者の皆様からの評判もよく、次年度も同様の懇談会を実施したいと考えております。



国際交流課

シンガポールStudy Tour 受入れ

9月30日から10月11日の2週間、昨年に引き続き、シンガポールナンヤンポリテクニクから14名の留学生を受入れました。手巻寿司による歓迎パーティーに始まり、都内ホテル見学、浴衣でお茶会、森永製菓工場見学、書道体験、箱根・鎌倉観光など、盛りだくさんのイベントを元気にこなしました。また、「ホスピタリティ」や「リーダーシップ」といった通常の授業にも参加し、積極的にSGS学生と交流する姿が見られました。プログラム修了後のアンケートで、「日本について印象的だったことは?」と聞いたところ、最も多かった答えは「日本人の丁寧さ、親切さ、忍耐強さ」でした。



春休み留学プログラム

この春には、22名が短期留学に、3名が長期留学に出發します。

短期留学

- ・RMIT大学(オーストラリア) 2名
- ・クライストチャーチ工科大学(ニュージーランド) 5名
- ・ハワイ大学(米国) 3名
- ・UCLA(米国) 5名
- ・ビクトリア大学(カナダ) 7名

長期留学

- ・ブレーメン州立経済工科大学(ドイツ) 1名
- ・RMIT大学(オーストラリア) 1名
- ・ビクトリア大学(カナダ) 1名



国際交流課のイベント

1月のイベントはこちらです。是非ご参加ください。

- 14日(火)&17日(金) ランチタイム: 2014夏出發 交換留学説明会
- 14日(火) 午後: プレーメン、シンガポールからの交換留学生による日本留学体験報告会
- 16日(木) 午後: 上記交換留学生 送別会

※ 交換留学を経験したSGS学生の報告会も予定しています。

学生会イベント

第1回SGS杯ボーリング大会

「第1回SGS杯ボーリング大会」(学生会主催)が11月27日(水)に江の島ボウリングセンターにて10レーンを借り、行われました。この日は平日でしたが、授業がなく年度初めから日程を設定していたものです。学生会内では2年前から企画し、ようやく実現となりました。44名が参加、学部長、学生委員長、学生課長のほか、学生食堂の方々も参加、学生との交流を行い大いに盛り上がりました。



地域貢献

湘南台まつり・湘南台ファンタジア

秋は地域でもイベントが多数あり、学生がボランティア活動を積極的に行いました。

10月12日(土)・13日(日)は、「湘南台まつり」が湘南台市民センターで行われ、会場内にSGSのブースを構え、大学及び学園祭のPRを展開しました。

10月26日(土)・27日(日)は、藤沢北部地区最大のイベント「藤沢市民まつり 第15回 湘南台ファンタジア」が行われ、湘南台市民センター・原谷公園(西口)・湘南台公園(東口)の3会場に分かれ、会場設営、運営を行いました。

湘南台市民センターでは、市民大学祭として学生ボランティアの活動展示コーナーが設けられ、4サークル(Zion's Club・ECO多摩・東日本震災復興Make It!・防犯パトロールたまパト)が発表を行いました。

また、メイン会場総合司会に、細谷雄太さん(4年)・鈴木千佳恵さん(1年)が抜擢され、ステージを盛り上げました。



教員紹介

高橋 順子 先生 Junko Takahashi



SGSで教え始めてから、すでに7年の月日が経ちました。湘南キャンパスにこのグローバルスタディーズ学部ができた初年度から、TOEICの受験準備のための講座や、リスニングなど、英語を担当しています。専門は英語教育と、その基幹分野として英文法、英語学です。英語を教えるために必要な理論と実践を研究するのが英語教育分野であり、英文法、英語学は自分にとって外国語である英語を教えるための言語知識を得るための分野として捉えています。

思い起こせば、もともと英語教師になることは中高時代の夢ではありませんでした。通訳やCAなど、英語を使って外国人と直接コミュニケーションを図ってみたいというのが夢でしたから、現在のSGSの学生の皆さんと共通の思いを持っていたのかもしれませんが、しかし、30年以上も昔のこと、生の英語に触れる機会もたいへん限られていましたし、高校の進路指導の先生に薦められて教育学部に進み、運よく大学3年生のときにアメリカのサンディエゴに国費留学をする機会を得たことが現在への道筋をつけてくれたように思います。帰国後に行った教育実習があまりに楽しく、それゆえに英語ができるだけでは教えることに不安があったため、大学院で教科教育の英語コースを選択し、その後、教師になろうと考えたのです。

現在のように手軽で安価な教材が出回っていない時代でしたが、今思うと逆にそれがよかったのかと思うことがあります。アルバイト代をはたいて買った映画『若草物語』のセリフ付きのサウンドトラック版をボロボロになるまで聴き、テープレコーダーが2台壊れるほどディクテーションをしました。とにかく英語学習に夢中だった自分を思い出します。

時代が変わっても、第二言語を習得するための人間の生物学的なメカニズムは変わりません。一人でも多くの人に英語に夢中になるきっかけを作ること、それが英語教師の役割かもしれません。英語の質問、英語学習の質問、歓迎します。ぜひ、学生のみなさんには、オフィスアワーに研究室のドアをノックしてもらいたいと思います。